

フローレンスプレス

作：多田

長月たより

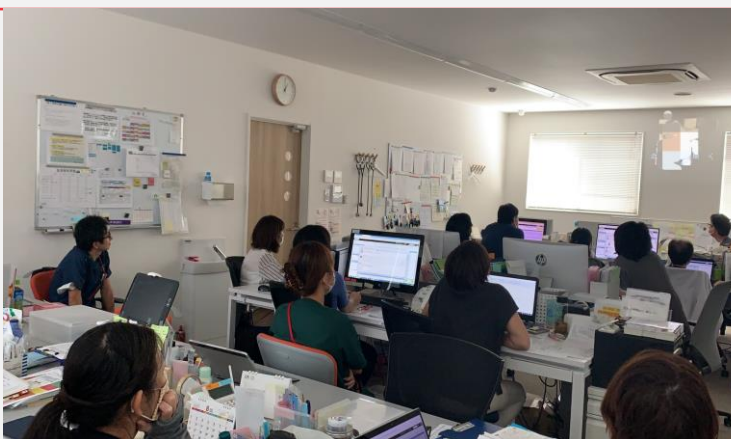


9月も終わりに近づき、朝晩とひんやり感じる季節になりました。乾燥・痒みなど肌のトラブルも出てくる時期です。今は肌に良い医療用品も充実しています。しかし沢山ありすぎて、どれが実用的かを迷いながら使用している物もあつたりします。そこで院内の物品庫整理Teamで検討議題が上がったタイプ類。

より良い物を検討したうえで皆様に提供する目的で、自分たち自身が体験検討、評価をしました。そのうち皆様にご使用いただいている物品も変更になる場合がございますが、右記理由もあります為、ご理解いただけますと幸いです。



ある日のチーム在宅



右の写真、皆が壁の一点に集中し何かを見ている写真。

何をしているところでしょうか？

ある日の月曜日、在宅ムービー上映を行ったときの写真です。

今年も残り4か月、色々と学ぶことが多かったことを次に生かすために、今一度ふりかえるきっかけを！そして患者さんへの想い、在宅への想い、スタッフみんなへの想いを込めて作ったムービーを上映しました。残念ながらムービー上映は出来ないもので下記に言葉だけお届けします。

嬉しそうにしている姿 家族の幸せ…
愛が見える家族へ遺した最期の言葉…
もうちょっとだけ自分の事をしたい…
突然のことで会えなかった最期…
家で過ごす景色が変わりました
私たちはその時に寄り添えていましたか？

在宅で過ごすことの意味

想いのままに過ごすことの意味

最期まで大切な人と過ごすことの意味

それぞれの意味に寄り添って

一緒に悩み 後悔しないように

今しかできないこと聞けないこと

それをできる【時】があるうちに

のがさないように、気づけるように

共に過ごせるように

居心地良い場所になるように

生き方に向き合って

チームで考える最善の

想いと関わりが

伝わるように

家に居たい、帰りたい

希望を叶えるため

どんな状態でも家に帰れること

想いを受け止め

当たり前の幸せをサポートできるように

意思を尊重し

最期まで家で過ごすように

出来る全力を

届けるために

自分たちには出来ない

最強で最高のチームを

意見を交わしお互いを尊重しながら

患者さんと家族の為に

それぞれが出来ることを

一歩ずつ確実に

